



帯広西ロータリークラブ

第2085回例会

会報

2015.4.9



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意
Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

4月結婚祝

- 堀 修司 会員(1973.4.29)
- 笹井 祐三 会員(1976.4.23)
- 佐々木嘉晃 会員(1982.4.25)
- 高田 晃一 会員(1984.4.15)
- 谷脇 正人 会員(1990.4.14)
- 天野 清一 会員(1990.4.22)
- 若林 剛 会員(1991.4.20)
- 上野 裕司 会員(1993.4.19)
- 神田 龍一 会員(1993.4.24)

4月誕生祝

- 岡田 武稔 会員(1938.4.1)
- 笹井 祐三 会員(1944.4.27)
- 渡部 省一 会員(1947.4.5)
- 森 房明 会員(1960.4.25)
- 増井 信也 会員(1967.4.24)
- 工藤 正宏 会員(1968.4.23)
- 熊切 宏樹 会員(1968.4.25)



親睦活動委員会



会長報告

皆さんこんにちは。
久しぶりに皆様の顔を見て大変「ほっ」としております。先週は友好クラブである高松ロータリークラブを訪問してきました。すでに満開となっている桜の迎えを受けてまいりました。夜間合同例会に参加し、翌日は合同ゴルフコンペを開催していただき、とても楽しいひと時を過ごすことができ、無事に帰ってきたことをまずご報告させていただきます。そして、改めてクラブごとにいろいろな例会運営の方法があるものだと、感じてきました。このことは、是非次年度活かして頂ければと思っております。本日はプログラム委員会担当例会で、「地域産業を考える」ということで佐藤聡会員に卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。



平田利器会長

さて、今日は「若い世代の意識」に関する話をしたいと思います。最近、若い世代の残虐な殺人事件のニュースが数多く報道されております。そのたびに「今時の若者は」と思わず口をついて出てしまいますが、果たして今の若い世代の人達は、人生、社会そして家庭において、どのような意識を持っているのか知りたくなり調べてみました。内閣府が実施した意識調査の結果をご紹介します。アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、日本、韓国の合計7ヶ国の若者（それぞれ男女1,000名以上）のインターネットによる調査結果を発表しております。世界の若者との比較は、興味深い物がありました。「自分自身に満足している」という設問では、日本は45%で最下位、トップのアメリカは86%が満足しているという結果でした。「自分には長所がある」という設問では、日本は68%とまた最下位、トッ

乾杯

親睦活動委員会 久保忠正会員



会長 平田 利器 副会長 佐々木和彦 会場監督理事 堂山 啓太 発行：広報委員会
幹事 天野 清一 副会長 飯田 正行 プログラム委員理事 久保 且佳 委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

プのアメリカは93%で、なんと25%も差がありました。日本の若者が、自分自身に対するひ弱さが際だった結果になっていると感じました。このほか「仕事がつまらない、やる気がでない、何となく憂鬱だと感じる」という設問でも、日本は70%と一番高く、ドイツは30%でした。「社会問題に関与したい」という設問は、日本は40%。「社会現象を変えられるかもしれない」の設問では、日本30%という結果した。何はともあれ社会変革意識も日本の若者は希薄であるという結果であります。但し救いもあり、「自国のために役立つことがしたい」という設問に対しては、7ヶ国中日本がトップの54%。さらに、「自国人であることに誇りを持っている」という設問でも70%が誇りを持っていると非常に高い回答の結果となっております。しかしながら、世界と比較した結果としては、我が日本の若者世代が活力に欠け、将来に対する夢や希望が希薄ということを感じざるを得ません。以上で、本日の会長報告とします。

会務報告

天野清一幹事

①帯広南RC、創立25周年記念夜間
例会開催のご案内

日 時 4月20日(月)
午後6時30分
場 所 北海道ホテル



②帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 4月23日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル

③帯広RC、4月29日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広北RC、5月1日(金)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、5月4日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、5月5日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、5月6日(水)の例会は、祝日振替のため休会と致します。

④例会終了後、定例理事会を開催致します。

ニコニコ献金

披露 近藤真治委員

平田 利器 会長

先週は高松RCに行ってきて、桜満開を見て楽しく過ごし、無事帰ってきました。



川田 章博 ガバナー補佐

当社の記事を勝毎に掲載していただきました。

大友 広明 会員

高松RCに訪問してきました。翌日の合同ゴルフコンペで準優勝しました。

佐々木和彦 会員

昨日から早朝で市内、その後郊外と、国道におい

てライン引きが始まりました。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈りします。

天野 清一 会員

高松RC訪問し、ゴルフコンペ初日優勝、2日目準優勝させていただきました。

金尾 剛 会員

4月4日よりオープンいたしました。今年も宜しくお願い致します。仕事終わりの夕方にジャンジャン練習にご来場ください。

久保 且佳 会員

本日、プログラム委員会担当例会です。よろしくお祈りします。

高松RC訪問、3日目のメンバーゴルフにおいて馬券があたりました。ゴルフ同好会を含めても初めての当たり馬券です。

萱場 誠一 会員

高知黒潮カントリークラブ遠征ゴルフコンペにて優勝しました。

鎌田 裕樹 会員

娘が、5月にタイ・バンコクで開催される国際卓球連盟主催のジュニアサーキットタイ大会に、全国高校選抜の一員として参加することになりました。世界への登竜門となる大会で、日の丸を背負って戦います。ご声援よろしくお祈りします。

伊藤 公康 会員

中2の娘が北海道バレエコンクールに出場、創作コンテンポラリー部門中学生の部で最優秀賞を頂きました。

齋藤 憲生 会員

2年越しで、やっと高松に行ってきました。合同の花見例会楽しかったです。親しくなった高松RCの方に、早朝に栗林公園を案内していただきました。でも、一番嬉しかったのは、診療を休んで、ここの部分が嬉しくて、でした。

森 房明 会員

昨日柏葉高校で入学式があり祝辞を述べさせていただきました。卒業式なりすまし事件もなく無事終了しました。

柳沢 一元 会員

午前中、南商の入学式に出席しました。女子学生と保護者の多さにびっくりしました。ちなみに男の人は200人中36人です。

ニコニコ
献金

4月9日

33,000円

累計

590,108円 (4月10日現在)

ポール・ハリス・フェローメダル授与

柳沢 一元 会員

委員会報告 社会奉仕委員会 佐々木嘉晃委員長

3月27日にメンバーの協力で集めているエコキャップを札幌へ持って行きました。305,300個、総量で710Kgとなり、860個のキャップでポリオワクチン1名分になりますの



で、355人分のワクチンの費用となりました。本事業は、皆様方はもちろん、神田会員の倉庫を使用し集めており、また佐々木和彦会員の会社にて、札幌へ運送してもらうというご協力により成り立っております。両会員には改めて感謝の気持ちを拍手にて表して頂ければと思います。ありがとうございます。是非、引き続きエコキャップの収集をお願いします。

プログラム

プログラム委員会 久保且佳委員長

お疲れ様です。当委員会は年5~6回例会を持たせていただきますが、本日は佐藤会員にお願いしました。ご存じの方も多いかと思いますが、佐藤会員はSNSで多くのことを発信されたり、本業以外の多くの活動にも関わっておられたりされています。今回は、「地域産業を考える」というタイトルで講演をお願いしております。それでは、宜しくお願い致します。



「地域産業を考える(消滅自治体)」 佐藤 聡 会員



皆様こんにちは。年間で数の少ない昼寝のできる例会となっております(笑)原稿がやっと今朝出来上がったばかりで、資料の順番など整合性のない部分があるかとは思いますが、寝ながら片耳で聞いてもらえればと思います。よろしく申し上げます。また、本日のテーマはテーマがもともとお知らせしたものと違って、「消滅自治体」となっております。これは、私が帯広市の産業振興会議を今年の3月までやっていたこともあり、選んだもので最終的にはテーマに沿ったものになるかとは思いますが、何卒よろしく申し上げます。

『消滅自治体』 ～傾向と対策(基礎編)～

人口減少は地域崩壊の黄色信号

是非1度考えてもらいたいこと

消滅自治体は 机上の空論?

- ◆ 少子化から考察
- ◆ 北海道 十勝および帯広市の人口推移は?

本日のメインのテーマ

北海道 十勝管内将来推計人口

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	(千人)
北海道	5,361	5,178	4,959	4,719	4,462	4,190	-1,171
		-183	-218	-240	-257	-271	
十勝支庁	340	329	317	302	287	272	-68
帯広市	164	159	153	146	139	131	-33
管内町村	176	170	163	156	148	141	-35

◆ 帯広市の33,180人減少とは?
現在の芽室・中札内・更別・広尾の合計人口と同じ全国的に見ても郡部の人口減少が顕著

道庁作成の予測数字。愕然とする数字が

日本国内の空き家戸数

280万戸...北海道人口の50%以上

少子高齢化の波は 確実に加速して居る
原因は 産業基盤の崩壊と 生活基盤の崩壊

人が住んでない家が全国でこんなに!

十勝管内の生徒数

- ◆ 平成10年 49,724人
- ◆ 平成26年 36,682人

直近16年間で...13,042人減少

十勝でみる子供の減少はすさまじい

人口減少対策として...企業誘致?

日本全体で考察すると
大企業の生産部門は、ローコストな海外へ流出

企業誘致しても地域産業に潤滑のない業種であれば
いつ撤退するの不安定要素が残る

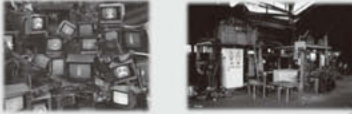
更に、大企業ほどオートメーション化が進み
人件費比率が低い

国内には 大量の人材を雇用する
業種が少なくなっている

企業誘致の手法はグローバル化の流れで簡単にはいかない

工業系企業の難しさ

例：国内電器メーカーのTV工場の城下町
海外メーカーの台頭でTV事業から撤退
企業城下町の地方都市は・・・今？



実際に企業を誘致した地方では撤退によりゴーストタウン化したところも

十勝における企業誘致の最低条件

1. 地元基幹産業に関連した業種であること
例：セイコーマート 原産地に加工工場を造っている
2. 税収の関係から現地法人であること



十勝での誘致は、十勝の産業と結びつけるべし

十勝の基幹産業

農林水産業（一次産業）

最大の強みは
生命維持の根源『食』

地域自立の条件
食糧自給とエネルギーの自給



食、エネルギーなどそれぞれ強く独立できるぐらいの強みを活かすべし

十勝農業の実態

農家戸数

1965年 19,761戸

ピーク時から13,460戸減少

2010年 6,301戸

農業の合理化や大型化が進み絶対人口は減少する！



農家の戸数は7割減っているが、粗生産は上がり、いわゆる無人化の影響

十勝における経済構造

車屋・建築屋・ガソリンスタンド・保険屋
印刷パッケージ・花屋・クリーニング屋
パーマ屋・写真屋・洋服屋・飲食店etc

単独で成り立つ商売は
.....何一つ無い！

生産 → 加工 → 流通 → 販売

不足しているもの 地元消費



地域でも産業は連動しているが地域での消費がうまく連動していないのでは

TPPから考えてみる

(環太平洋戦略的経済連携協定)

- TPPは医療・保険・金融を含めた全産業構造に影響を与えるもの・・・決して農業問題ではない！
- 十勝におけるTPPの影響は甚大？
- 主要5品目の関税撤廃を阻止する？
農業の基本は確立された輪作計画があること
十勝農業の崩壊は、地域経済の崩壊に繋がる
- 酪農業はメガファームで対抗する？
大規模酪農は機械化・合理化がより一層進む
多頭飼育による糞尿の地下水汚染対策が不十分

TPPは決して農業だけに関連するものではない。また、農業をとっても1作物を守るだけのものではない

斬新な施策の課題

- 行政や基幹産業を支えるJAは、管轄区域の枠から抜け出すことが難しい
- 十勝全体の経済構造を見据えた具体的な政策がなかなか打ち出せない
- 経済活性化による人口減少対策は包括的問題！
一部の自治体や特定の企業が繁栄することではなく
十勝がひとつの循環型経済構造になること
そして、就労する場所があること

解決には様々な課題が

人口減少対策の鍵は？

• 基礎人口という考え方

1. 働く場所を確保し定住人口を確保する
2. 観光・研修・合宿トレーニングなどの交流人口を増やす

- 地元基幹産業の応援をすること
- 地元企業で消費行動すること
- SNS等の各種ツールを使って情報発信すること
・観光・環境・食・各種イベントetc

基礎人口（定住と交流）を増やすといった考え方

産業構造と発想の転換

- 食材原料の供給基地から高付加価値食品の供給基地へ
六次化を含めた業態転換
- 十勝ブランドなど地理的表示による差別化
・価格競争から品質競争へ
- 地元企業や地元住民による支援体制の確立
・消費行動は勿論のこと
1. 各種飲食店での活用
2. 贈答品などでの活用

まずは、様々な分野での発想の転換が必要

人口減少の最終シナリオ

- 絶対人口の減少は 医療機関の撤退に繋がる
- 医療機関のない地域には人は住まない

※人口減少を食い止めることが
自らの生命を守る事と心得ましょう



医療機関がない地域には人は住まない！

人口減少を食い止めるべく、地域産業をみんなで利用し盛り上げていくことが必要ではないでしょうか。そうして、各種課題を解決し未来につなげていくことが必要と思います。以上で講演を終了します。

